



26

夏草——「おくのほそ道」から
いにしえの心を受け継ぐ

松尾芭蕉

ねらい

- ① 作者のものの見方・感じ方を読み取ろう。
- ② 表現のしかたや文体の特徴に注意して読み味わおう。

ウォーミングアップ



読解の道しるべ

旅行記

元禄二年（一六八九年）旧
 暦三月二十七日に江戸を出発、
 奥羽・北陸を経て、美濃国大
 垣まで至ったときの途中での
 体験や見聞と俳句を記録した
 もの。

芭蕉の思い

西行や杜甫などに深く学び、
 旅をすることによって俳句の
 新しい道を探り、切り開こう
 とする思いがあった。

『おくのほそ道』とは

文学的価値

芸術性豊かな俳風を確立し
 た、芭蕉の代表作であり、日
 本の代表的な俳諧紀行文であ
 る。

文章の特徴

和文と漢語の交じり合った、
 いわゆる和漢混交文で、独特
 のリズムをもち、簡潔で格調
 の高い文体である。その中に
 俳句が織り込まれ、さらに効
 果をあげている。



「読解の道しるべ」を参考にして書こう。

中に

がさしはさまれているのが特徴である。

・北陸地方を経て大垣まで旅したときの旅行記であり、文章の

『おくのほそ道』は、生涯を旅に生きた芭蕉が

を出発して、

漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

- ① 別荘に泊まる。 □② 門出を祝う。

2 次の古文を口語訳するときには、「」にどんな助詞を補ったらよいですか。後の「」の中から選び、書きなさい。（同じ助詞を繰り返し使ってもよい。）

□① 馬の口 トラへて老いを迎ふる者

□② 片雲の風にさそはれて、漂泊の思ひ やまず

□③ 松島の月 まづ心にかかりて

□④ 四面 新たに囲みて

【が の を と】

定期テスト対策

教科書 P 154 ~ 162

実施時間のめやす ↓ 20分

得点

/ 100点

I 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(松尾芭蕉『おくのほそ道』)

15

10

5

□(1) 線①「三代の栄耀一睡のうちにして」に込められた作者の思いとして

最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。(6点)

ア 人の世に永遠のものはない。 イ 歴史には千金の重みがある。

ウ 人生は平凡の一語につきる。 エ 歴史の流れには逆らえない。

()

□(2) 線②「大門の跡は一里こなたにあり」とありますが、正門が一里(約

三・九キロメートル)も手前にあることから、平泉館のどんな様子がわかり

ますか。(6点)

()

(3) 線③「秀衡が跡は田野になりて、金鶏山のみ形を残す」について、次

のⅠ・Ⅱに答えなさい。

Ⅰ 作者の目に見えているのは何ですか。二つ書きなさい。(5点×2)

□ () □ ()

□Ⅱ この一文では、どんなことを対比していますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。(6点)

ア 美的なもの醜いもの。 イ 新しいものと古いもの。

ウ 静的なものと動的なもの。 エ 人の世の盛衰と不変の自然。

□(4) ———線④「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」とありますが、これは中国唐代の代表的な詩人の漢詩の一部をもとにしたものです。その詩人の名前を書きなさい。 (6点)

(5) A、Cの俳句の季語と季節を書きなさい。 (3点×6)

A	□季語	□季節
B	□季語	□季節
C	□季語	□季節

(6) Aの俳句について、次のI・IIに答えなさい。

□I この句と最も深く関連する歴史的なことがらを述べた一文を文中から探し、その初めの五字を書き抜きなさい。 (6点)

□II 作者はこの句にどのような気持ちを込めていますか。「自然」と「人の世」の二つの言葉を使って、三十字以内で書きなさい。 (6点)

□(7) Bの俳句では、何から何を連想していますか。 (6点)

□(8) ———線⑤「千歳の記念とはなれり」とありますが、何が「千歳の記念」になっているのですか。文中から二字で書き抜きなさい。 (6点)

□(9) Cの俳句は、光堂の何を詠んでいますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。 (6点)

- ア 輝きや美しさ。 イ 寂しさ。
ウ 大きさや力強さ。 エ むなしさ。

□(10) この文章には表現・文体上のどのような特徴がありますか。あてはまらないものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。 (6点)

- ア 対句表現もあり、独特なリズムを生んでいる。
イ 表現は簡潔で、きびきびとした感じがする。
ウ 和語を多く用い、優雅な文体となっている。
エ 漢語を交えた、力感のある簡潔な文体である。

□2 次の——線の読み仮名を平仮名で、片仮名を漢字で書きなさい。 (3点×4)

- ① 門松を飾る。 () □② 破れ物を繕う。 ()
□③ サンソウに泊まる。 () □④ ドライブにサソウ。 ()